



2023年8月10日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） 日色 保
（コード番号：2702 東証スタンダード）
問い合わせ先 日本マクドナルド株式会社
取締役 執行役員 最高財務責任者 吉田 修子
TEL 03-6911-6000

2023年12月期第2四半期連結決算状況のお知らせ

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の第2四半期累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）の連結業績につきまして、下記の通りご報告致します。

ハイライト

- 中期計画の施策や価格改定等により売上高は対前年同期比で増加。既存店売上高は31四半期連続でプラスを継続。
- コスト面においては、前年度から引き続き厳しい事業環境が継続したものの、増収や各種コスト管理により、営業利益、経常利益、当期純利益は増益。通期計画に対しては、概ね想定の範囲で進捗。
- 今後も中期計画の取り組みを始めとする各種戦略と将来に向けた投資を行い着実な成長を目指す。

(単位：百万円)

2023年第2四半期累計期間	実績	前年実績	前年比	前年比(%)
全店売上高*	372,148	342,020	+30,127	+8.8%
連結売上高	182,460	168,227	+14,232	+8.5%
連結営業利益	18,011	17,479	+532	+3.0%
連結経常利益	17,980	17,323	+657	+3.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,370	11,013	+357	+3.2%

*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

2023年第2四半期累計期間 前年同期比(%)

全店売上高	既存店売上高	既存店客数	既存店客単価
+8.8%	+7.4%	-1.7%	+9.2%

2023年第2四半期累計期間は、中期計画に基づくマーケティングや店舗・人材への投資の成果や価格改定等により全店売上高が3,721億円（前年同期比+301億円）となりました。

コスト面においては、為替変動、原材料費や物流費等の上昇によるコスト高の影響が継続したものの、売上が伸びたことや各種コスト管理により、営業利益は180億円（前年同期比+5億円）、経常利益は179億円（前年同期比+6億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は113億円（前年同期比+3億円）となり、概ね想定範囲の結果となりました。

今後も、引き続きビジネスの基盤である安全・安心の分野を徹底しながら、お客様の店舗体験と満足度の向上を目指してまいります。さらに、地域社会に貢献し、皆様に愛されるブランドとなるよう努めると同時に、通期業績見通し並びに中期経営目標の達成を目指してまいります。

以上

※この資料は兜俱樂部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。